

名前：

最近、インターネットの発達により、新聞や雑誌の必要性が問われるようになった。インターネットですべての情報を手にする事ができるのにあえてわざわざ新聞や雑誌を買う。これを見ようとする必要があるのか、という事だ。

インターネットの場合、その速度がものすごく早く、パソコンやけいこいを持ってる人はあべこがせんぜい的に情報をネット上に流せる能力を持ってる。しかしその情報の正確さや信ら性、せんもん性は低い。

一方、新聞や雑誌などはその早さでインターネットにおとるかもしれないが、情報としての信ら性やせんもん性にはあまさんまってる。もちろん新聞や雑誌にもあやまった情報やせんもん性に欠けるものもあるし、逆にインターネットのばく大な情報のなかにはもと正確な情報がある場合もありえる。だから情報の正確さやせんもん性の理ゆでインターネットが新聞と雑誌よりすばらしいものである

るというのとも言えない。それはなぜかという。インターネットよりも新聞と雑誌は見やすく、老人やパソコンが使えない人にはネット上の情報よりも手に入れやすいからである。

そしてもう一つ、人々はみんな昔のアナログ的+ものの中にそのこいしさを感いてるからである。いくらインターネットが発達し、情報を簡単に手に入れることができるけども、新聞や雑誌を手でめくりながら読むたのしさはそこではえられないことであるからだ。

これからいくらインターネットが発達し、雑誌や新聞の役わりが少なくなっても、それらは必要であると思う。実用的な人でもそれがあ、こころがあ、たまればそれだけでも充分価値のあるものである。